Fetch の利用方法

——Mac で楽々 FTP——

反応化学研究所　佐藤正秀
masa@icrs.tohoku.ac.jp

1　はじめに

FTP（File Transfer Protocol）はファイルを遠距離の計算機間でやりとりする際につかわれるプロトコルです。通常，FTP を利用するためにはファイルをやりとりする相手先の計算機に ID を持っている必要がありますが，不特定多数のユーザへの利用を許可している「anonymous FTP server」というものがあり，Username として「anonymous」または「ftp」，パスワードとして自分の E-mail address を入力するとシェアウエアやフリーウェアなどが自分の Mac に転送出来ます。東北大学にも公式の FTP サーバー ftp.tohoku.ac.jp が稼働しており，本稿で紹介しているインターネット関係の Mac のアプリケーションが数多くおいてあります。

FTP 自体は「NCSA Telnet」でも利用できますが，より Mac ライクな操作で FTP 出来る「Fetch」というシェアウエアがあり，anonymous FTP server へ接続してフリーソフトウエアやを入手するような場合は非常に便利なプログラムです。ここでは ftp.tohoku.ac.jp へ接続する場合を例に，その使い方を簡単に説明します。

2　Fetch の使い方

2.1　ファイルの転送 (put & get)

(1) 「Fetch」を起動します。すると図 1 のようなダイアログボックスが出てきます。デフォルトは Fetch を開発した Dartmauth 大学の FTP サーバーになっていますが，Host に ftp.tohoku.ac.jp，UserID に ftp（もしくは anonymous），Password に自分の E-Mail アドレス（画面では図 1 のように伏せ字になります）を入力して OK をクリックします。

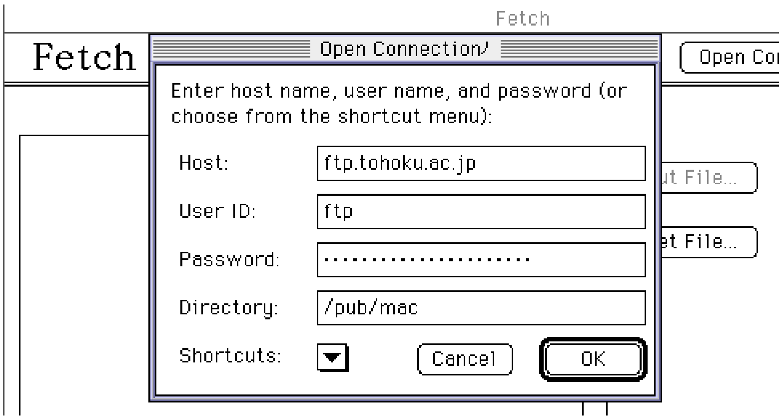

図 1: Fetch の起動画面

(2) すると ftp.tohoku.ac.jp との接続が開始され，図 2 のような画面になります。上部のウィンドウは FTP サーバーからのメッセージを表示しています。下部のウィンドウは Mac のフォルダの中身を小アイコン表示させたのと類似の表現で FTP サーバーのディレクトリの中身の一覧を表示しています。フォルダの形をしたアイコンがディレクトリを，通常のファイルの形をしたアイコンがファイルを，フォルダとファイルを重ねたような形のアイコンがシンボリックリンク（Mac のエイリアスのようなもの）をそれぞれ表しています。 以降は通常の Mac のファインダー操作と

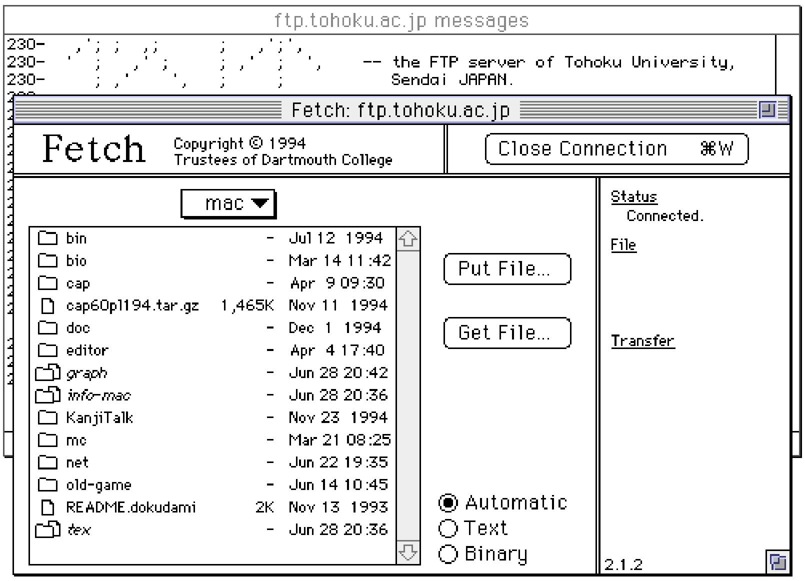

図 2: sftp.tohoku.ac.jp に接続した画面

同様で，ディレクトリをダブルクリックすると下層のディレクトリに移動でき，ファイルをダブルクリックするか，またはファイルを選択して「Get File...」ボタンをクリックするとファイル転送が開始します。ファイル転送中は図 2 の右側に File サイズ，転送済みバイト数，転送速度が表示されるとともに，カーソルがかわいい子犬が一生懸命走っている？形になり，思わず「もう少しだから頑張って」と言いたくなります。

(3) ファイル転送が終わったら「Close Connection」ボタンを押し，File メニューから「Quit」を選んで，「Fetch」を終了します。

2.2 カスタマイズ

なお頻繁にアクセスするサーバーは次に述べるような方法であらかじめ登録して，起動時に出てくるダイアログボックスのポップアップメニューに出すことができます。

(1) Customize メニューの「Edit Shortcuts...」を選びます。

(2) 新規に登録する場合，「New」ボタンを，記載事項の変更をする場合「Edit」ボタンを押します。

(3) 図 1 に類似のウィンドウが表示されるので，FTP サーバーのニックネーム，IP address か DNS 形式の domain name，ID，パスワード，接続時に入っておきたいディレクトリを順に入力します。また，FTP サーバーのニックネームをドラッグ＆ドロップすることにより，ポップアップに出てくる順番やデフォルトのサーバーの変更が可能です。なお，この方法で FTP サーバーのパスワードを設定しますと，次回以降はパスワード入力無しで接続可能になります。従って annonyous FTP サーバー以外ではここを空欄にしておき，接続開始時にその都度パスワードを入力するようにした方が安全でしょう。